令和４年度　学校評価結果公表　　原山台幼稚園

１、園の教育目標

＜げんきであかるくのびのびと＞少人数のクラス編成で一人ひとりを大切に。

＊健康で明るく心身ともにバランスのとれた子。

＊思いやりのある豊かな心と頑張る強い心を持った子。

＊自分でよく考え自分で行動できる子ども。

２、本園の重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した、学校評価の具体的な目標や計画

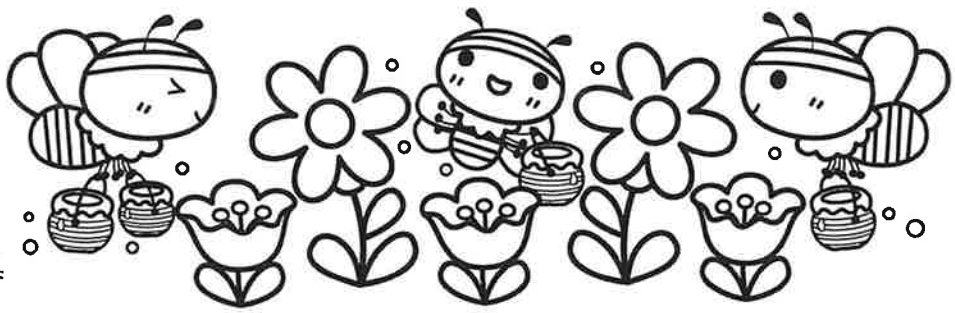
＊自己点検・自己評価することにより個々の目標保育を振り返り、自園の教育方針を十分に理解した保育を、又、教育目標に基づいた保育がなされているか等を各教師自ら客観的に見直し，自分の長所や課題を理解し、保育者として向上を目指す。

＊各保育者の自己評価を踏まえて、園設備・環境・教育内容の改善に取り組んでいく。

３、評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取組状況
教育方針・指導計画記録について	例年通り指導計画は園全体で、又、各学年が話し合い、個々の子ども達が楽しめるよう、又、心身の成長に沿ったものに計画されている。またその年の子ども達の反応や発見に応じて、変更できるように配慮している。行事ごとに改めて確認し、どの保育者も指導内容を十分に理解し、園内外問わず第３者にも周知喚起できるようにしておく。
健康について	子ども達が心身ともに、健康で安全な生活を送ると共に、笑顔あふれる園生活が送れるように、各家庭の環境を把握する事で、家庭で基本的な生活習慣を送っていけるようにいろいろな形で発信する。又、必要に応じて家庭との連携をとり見守り援助していく。食育に関しては、園内の畑で野菜や、果物を育て、観察・収穫を行い、給食の食材として、提供されている。
人間関係について	保育者と子ども、そして保護者との信頼関係を築く事に重点を置き、安心した関係の中で園生活が送れるようにする事は、変わりなく今年度も基本としておく。学年に応じた遊びを工夫したりして、子ども達とたくさん関わりを持っている。トラブルが起きた時には、たっぷりと時間を設け、互いの思いに耳を傾けるようにしていて、相手の気持ちにも気付かせるような言葉掛けをしている。
環境について	園で過ごすことが、子ども達の生活、すなわち環境であることを頭に置き、安心して過ごせる環境を作り、感性を育つように整える。園外の掃除は学期毎なので、月１回や、週１回出来る様、見直したい。
言葉について	毎日の園生活を過ごす事で、話す楽しさを味わえるようにし、子どもの思いを受け止め、一人ひとりが自分の意思表示を出来るような環境作りをしたり、発表する場を設けたりしている。

表　現　に　つ　い　て	作品・リズム・思い等の様々な表現などができる楽しさを味わい、自信につながっていける様に配慮する。又、表現できる場として、日々の園生活、行事を工夫し、子ども達が積極的に参加できるようひとりひとりの思いや意見を取り入れ工夫・配慮してきた。
研　修　に　つ　い　て	例年同様保育終了後や長期休暇を利用して、積極的に研修に参加している。また、園内においても、色々な事例に基づいてシミュレーションを行っている。昨年度の課題であった、園外研修で学んだことの共有を本年度は話し合えた。今後も、お互い情報交換することで、保育技術の向上に努めていきたい。又、研修に参加することで満足せずに、自分自身の課題を見つけ、教育者としての、意欲や知識の向上を目指す事を、今年も課題としていきたい。
家庭との連携について	例年と変わらず、保護者の思いに耳を傾け、懇談や送迎の際にその日の子どもの様子を伝えるなどし、より深く信頼関係を築けるようにしている。今後も続けて努力していくと共に、一人ひとりの成長について各家庭と情報を共有・交換・連携していく事を怠らないように心がける。
安全・衛生管理について	園庭では、各遊具の側で安全面に配慮し、見守るようにしている。また、各学年に応じた遊具で遊ぶようにし、危険のないようにしている。火事・地震・不審者侵入などの訓練を定期的に行い、非常時には各職員がとるべき状況を確認し把握できるようになった。普段の訓練は行えているが、各行事の時も同じように行えるよう、認識が必要だと思う。例年と同じように、ヒヤリ・ハットの事案を検証し、子どもにとって怪我の対象となるようなものは、出しっ放しにしない・すぐに修理する等を徹底してきたが、まだまだ、不十分であることに気付かされた。園生活の中で、個々の心遣いや配慮・点検が、安全管理に繋がることを意識し日頃から気をつけるようにしてきた。園児が服用する薬や、園置きしている薬品は、間違いの無いように細心の注意をはらうことを怠らずしてきた。
学級運営について	園内全域にわたり、子ども達が園生活を過ごす上で、わかりにくかったり、使いにくかったりするところがある。支援が必要な園児には、常に担当の職員がついているわけではない。例年同様変わらず、園児の個人記録はその時々に記録すると共に、今後の園生活に的確な引継ぎが出来るよう、職員は心がけておく。



４、学校評価の具

評価結果
自己評価をする度に思うことであるが、自己評価を終えるたびに立ち止まり自分の課題が客観的に見えてくる。自分自身を見直す大切なことであると痛感する。 満足に目標を達せられた事　又、十分に良かった事なども把握できるが、まだまだ、不十分で心残りな面も見えてくる。日々の保育・季節ごとの行事・学期末・学年末をその都度振り返っているが、園としての、個人としての課題が明確に分かる。 保育のあり方や幼児への対応、保護者への支援等、方向性が一致出来るよう日々話し合い進めていくことが大切である。 下記のことは、毎年と同様であるが大切なことであるので、今後も記しておきたい。 ＊保護者や地域との関わりを深める。 ＊支援が必要な園児には関わり方を、保護者と共に専門知識のある関係機関と連携をとる。 ＊子どもの育ちを十分に意識し、その育ちの手助けとなるべく配慮する。 ＊子どもの思いを受け止めると共に、その思いに答えられるようにする。 ＊自然に触れる機会を多く持ち、四季や自然現象を体感出来る機会を持つ。 ＊子どもにとっての、安全かつ安心できる最良の環境を整える。 ＊個々の保育者が研修・専門書などの勉強を怠らず、自己の成長を図る。 ＊職員間同士で、報告・連絡・相談しあい、足並みを揃えた保育を行っていく。 ＊危機管理について職員間で確認しあい、どの様な場においても対処・対応できるようにしておく。 ＊全てにおいて、丁寧な保育・仕事をする。 ＊改定された教育指導要領に基づいた、指導教育を行う。 等を常に意識しながら、保護者対応・学級運営、そして子ども達と実りある充実した園生活を送れるように、又、幼児期の教育を行えるようにする。

５、今後取り組むべき課題

課　題	具体的な取り組み方法
環　境　作　り	園生活が楽しくなるように、怪我などしないよう、園内外の安全、点検・整備を日常的に怠らない。備品など老朽化しているものは放置せずに、新しいものに交換するかリサイクルする。園庭の草花などの環境を整え、いつでもきれいな状態であることを維持する。火事・地震・不審者侵入などの非常時訓練を教職員だけでなく、バス添乗員や課外教室の先生など、園に関わる者は全員把握できるようにする。
保育技術の向上	教職員での意見交換・情報共有を大切にし、改善案を常に見直すことを日常化しながら、発達段階に合ったカリキュラムを作成する。研修参加やスキルアップの為の自己学習は勿論であるが、自己の感性が豊かになるよう様々な文化や芸術に触れると共に、四季を十分に感じられるような活動を取り入れて“今”しかできない経験の楽しさを共に味わう。また、遊びから学びへの保育を充実させ、新しいことに挑戦できるようにする。
小学校との連携	就学前の園児一人ひとりを十分に把握すると共に、課題のある子どもには的確な引継ぎを小学校に行い、保護者の思いも受けとめつつ、就学後も安定した生活が送れるように援助する。また、幼保小接続の研修会を通して、学区内での連携をとり、年１回の交流会を増やしていきたい。
地域との連携	地域の方々と関わりをもち、日々の保育に繋がるようにしていくことが、園児の安全・安心である園生活を送れ、安定し充実した教育に繋がる事を理解し進めていく。

令和４年度　　学校関係者評価　結果公表

幼稚園の教育目標

＊心身共にバランスのとれた子。
＊健康で明るい子、元気な子、思いやりのある子、強い心を持った子。
＊自分でよく考え、自分で行動出来る子。

幼稚園の教育方針

＊健康な体力を養う保育（専任コーチによるスイミング指導と体育指導）
＊子どもの発達段階を考え、頭に詰め込むのではなく豊富な経験を身体全体で受容する保育
＊ひとりひとりを大切に、楽しみ喜び明るさいっぱいの愛情ある保育

園の学校評価（自己評価）の内容について・・・・・

	評　価　項　目	評価	理　　由
1	保育の姿勢・進め方について	A	収束の見えない「ころな」のなかでも、園の教育目標や方針が見えていた。年間計画に基づき指導されていること思うが、時には３年目のコロナで思うようにいかないようにも見えた。 しかし専任の指導講師のもとの指導も遊びを取り入れてあり、子ども達も楽しく参加していたように思う。個々の子どもの様子を担任が理解し対応もしている。個性を大切にし、今後も指導していってほしい。
2	園児への対応	A	園に人数が少ないので細かく対応できている。子どもが楽しそうに登降園する日々様子を見て安心できる。個々の子どもの力を発揮できているように思う。補佐やほかの先生方も、園児達の名前を憶えているようなので保護者としては嬉しい。園生活で遊んだり言葉かけしたりし園職員の笑顔が安心できる。
3	幼稚園教諭としての 能力・良識・資質	A	保護者対応も丁寧で、細やかな指導していると感じる。園児が頑張った後の達成感を一緒に感じ一緒に喜びのような、子どもと同じ目線に立っている。全ての先生が、子どもに寄り添おうとしてしていることが、様子を見ているとよくわかる。
4	保護者の方への対応	A B	保護親からの相談などに対し、子どもの様子も分かりやすく、伝えてくれていることが安心できる。トラブルにも迅速に対応している。園としての考えや思いも伝わっている。日々の様子は送迎時や電話・お手紙や等で知らせてくれているので安心できる。コロナ以前のように、自由に園内に出入りできる日が早く来ることと願う反面、不審者への気配り（園門の開閉）配慮を願う。
5	行事のバランスや設定	A B	コロナ以前の形に戻しつつも、感染対策など出来る限りのことはしてもら。まだまだコロナ前の行事のようにはなっていないが、、人数制限や対策など、この令和４年度としては、適切だったのではないかと思う。なにより、子どもたちが楽しんでいたので良かった。

6	安全管理の取り組み	A B	毎年、個人情報、又、園児の安全も、対策しているように思う。不審者侵入訓練や交通安全訓練、防災訓練も定期的に行っていることは、保護者としては安心である コロナ禍であるので昨年同様、保健衛生面の安全対策も良かった園門のセキュリティーが気になる。閉まっているように見えても開いていることがある。保護者も開けたまま園もからでる等の姿を、度々見る事がある。園ももっと注意するなどをしても良いのでは。
7	園に対する保護者の満足度の把握	B	園児が減少しているのも関わらず、様々な意見が増えている昨今。保護者の要望に耳を傾け、適切に対応できていると思う。子どもの相談などは、適切に話を聞いてくれている。又、バス内置き去り事件（ニュース）やクレームなどには、早急に手紙等で対応もしている。アンケートも取り回答など知らせてくれているが、今後、多様化する保護者の満足や様々な意見の把握は難しくなってくるのでは・・・・。

結果の表示方法・・・・・・A　　十分達成されている
B　　達成されている
C　　取り組まれているが、成果が十分でない
D　　取り組みが不十分である

今後の園のあり方について・・・・・

園児が少なくなってきている今、少人数を利用し、子ども一人ひとりを大切に見守り・成長させてほしいと願う。通園している保護者の満足度は高いと思うので、行事・教育内容など低下させる事ない様に願っている。

園の問題点について・・・・・・

HP の掲載が、バランスよく楽しみにしている。個人情報など掲載内容が難しいと思うが、PWつきの「アルバム」が有りがたいが、学学年バランスよくＵＰしてほしい。
この地域の子どもの減少のせいもあると思うが、園児も少なくなっている。
子ども達の大好きな幼稚園であるので、園児が増えるとこを願っています。